

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	大規模災害に迅速に対応可能な無人化施工技術の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	公共事業企画調整課		課長 安藤 淳		
会計区分	一般会計		施策名	12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、集中豪雨や地震等に伴う土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害が年平均で約1,000件以上発生しており、多大な被害が発生している。二次災害の危険性から有人施工が困難な現場において、安全確保に極めて有効な手段となる無人化施工技術を活用する際に、国が保有する機械のみならず、民間が保有の機械も有効活用することで、効率的な復旧活動を実現するものである。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	災害時に、遠隔操作式建設機械を迅速に災害現場に集めて稼働させるためには無線通信の混信を防ぐ調整が必要であったが、国が保有する無線通信や映像伝送等のシステムに、国や民間保有の遠隔操作式建設機械が即時接続できるように接続仕様(インタフェース)の標準化を行い、民保有の機械も無人化施工システムに有効活用することで、効率的な復旧活動を実現するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	12	-	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	12	-	
	執行額	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	接続仕様(インタフェース)の標準化(案)の周知		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	接続仕様(インタフェース)の標準化(案)の作成		活動実績(当初見込み)	%	-	-	-	100
					()	()	()	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2百万円						
	職員旅費	0.3百万円						
	委員等旅費	0.2百万円						
	水害・土砂災害対策調査費	11百万円						
	計	12百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	無人化施工技術の接続仕様の標準化は、災害復旧工事の迅速化に極めて有効な手段となるため、国が実施すべき重要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>大規模災害により甚大な被害を受けた被災地には早期復旧が必要であることから、無人化施工機械の活用により迅速な災害復旧を実現させる本事業の緊急性は高いと認められる。また、事業の代替案として、官で機械を保有して迅速に復旧活動を実現する方策があるが、本事業の方が民保有の機械を有効活用することで、より効率的に目的を実現することができるといえる。なお、本事業は、道路や河川などの社会資本の災害復旧事業の迅速化に資するものであることから、国土交通省の任務である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>事業終了のため事業廃止とし、今後、実際に建設機械の有効活用が行われるよう事業効果の検証をするべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	<p>—</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	<p>—</p>		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新24-2003

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					